

学科名	デザイン科
コース名	インテリアデザイン専攻
授業科目	総合実習 3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	60
単位数	2
担当教員	角田光代
実務経験	有
実務経験職種	インテリアデザイナー
授業概要	この授業では、課題条件がある中で空間デザイン提案を行うが、実務を想定したワークフローで進めインテリアコーディネーターとしての仕事をリアルに理解できるようにする。寸法や空間サイズ感、商品知識、トレンドなど実務に必要な知識を高める。 〈最終成果物：コンテストに応募〉
到達目標	課題条件をもとに、テーマを設定しコンセプトを立てられる。他者にイメージがしやすい図面の作図ができる。 インテリアエレメント、マテリアルの選定ができる。プレゼンテーションボード・マテリアルボードの制作ができ、他社に意図を伝えられる表現方法の幅を広げる。
授業方法	課題の理解、テーマ、シーンを立てる、コンセプト立案→インテリアエレメント、マテリアルの選定 →空間伝達方法（作図、3D、パースの作成）→プレゼンテーションボード、マテリアルボードの作成
成績評価方法	プレゼン 20% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度 40% 提出課題完成度を総合的に評価する リサーチ・作業 20% 制作準備と過程を評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する
履修上の注意	授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。
教科書・教材	製図道具、ノートパソコンなど 資料は必要な時に配布
授業計画	
第1回	課題説明 / 課題条件の理解、コンテストの取組みの仕方
第2回	課題説明 / 課題条件の理解、コンテストの取組みの仕方 / アイデア出し、インテリア素材の使い方
第3回	プランニング / アイデア出し、空間として捉えた場合どうなる？
第4回	プランニング / アイデア出し、空間として捉えた場合どうなる？
第5回	商品選定 / マテリアル選定

第6回	商品選定 / マテリアル選定
第7回	提案検討、作図、制作 / パース、模型、CGなど 立体的に伝わる方法で制作
第8回	提案検討、作図、制作 / パース、模型、CGなど 立体的に伝わる方法で制作
第9回	提案検討、作図、制作 / パース、模型、CGなど 立体的に伝わる方法で制作
第10回	提案検討、作図、制作 / パース、模型、CGなど 立体的に伝わる方法で制作
第11回	プレゼンテーション / 応募条件に従った形式にボードをまとめる
第12回	プレゼンテーション / 応募条件に従った形式にボードをまとめる
第13回	プレゼンテーション / 応募条件に従った形式にボードをまとめる
第14回	プレゼンテーション / 応募条件に従った形式にボードをまとめる
第15回	仕上げ、応募